## 平成30年度実施施策に係る政策評価書

(内閣府30-26(政策7-施策①))

<u> </u>	<b>b</b> 策名		科学技	が・イノベ	ーション政策の推								
 施			原子力	の研究、	開発及び利用に係	系る政策の検討	討∙情報発信領	<del></del>					
達成す	けべき目標			の原子力 させる。	の研究、開発及び	が利用(以下「	原子力利用と	いう。)に関	する取組につ	いて、国内及	び国際社会へ	への情報発信	により理解
			【施策の概要】 我が国の原子力利用に関する取組に対する提言等の検討や、原子力に関する活動の国内及び国際社会への情報発信等を着実に実施し、国民の理解増進に向けた貢献を目的とする。 【平成30年度に実施した具体的取組】 国内外の原子力動向を把握するための調査や原子力分野における情報体系の構築に向けた調査等を行った。										
施策の概要													
			国内7									A 5	
施策の予算額・執行額 (単位:百万円)			区分 当初予算(a)		平成28年度 111 111 111 102		平成29年度 123 123 109		平成30年度 124 124 112		<u> </u>		
		予算の状況 - 執行		補正予算(b) 繰越し等(c)							2147		
				合計(a+b+c)									
西策に関係する 施政方針演説				<del>1</del> 74.1	<b>」</b> 合兵		JZ	_	) <del>9</del>	- 11	2		
区分 定指標 定量的指標		主要な 指標 消標						施策の実績	*進捗状況				
					<del></del>		年度ごとの目					達成	
		的 指	☑ トの にお の複					20年度		要ごとの実績· ────────────────────────────────────	···_	20/5	 —————
				1. 原子力委員会Webサイ		29年度	30年度	26年度 	27年度 328,425	28年度 477,350	29年度 507,002	30年度 579,577	0
				トのアクセス件数(同一日における、同一端末から	579,577	579,577	328,425	477,350	507,002	579,577	735,203		
				の複数アない。)	アクセスは重複し	我が国の原- 信等を原子	)定義及び選別 子力利用に関 力委員会Web <sup>·</sup> 力委員会Web	ーーーー  する取組に サイトから行	ついて、国内につており、取り	外における理 り組みが充実し	解増進を図るし、国民の関	 らため、積極的 心や理解増進	きが進んた
								実績値					
			1. 原子	一力委員会	の議事録公表数	1	27年度	28年度	29年度	30年度			
参え	考指標		1. 原子	力委員会	の議事録公表数	26年度 48	27年度 43	28年度 46	29年度 40	30年度 45			
参え	考指標			-力委員会 - 大委員会 - 会議の開		1		28年度					
参え	考指標					48	43	28年度 46 実績値	40	45			
			2. 国際	《会議の開		48	43 27年度 4	28年度 46 実績値 28年度	29年度	45			
	考指標  達成度合い 測定結果		2. 国際	《会議の開 各行政機関	催件数	26年度 4 2 目標達成	43 27年度 4	28年度 46 実績値 28年度 5	29年度 5	45 30年度 5			
	達成度合い		2. 国際	会議の開 各行政機 (判断	選共通区分) 	26年度 4 2 目標達成	43 27年度 4	28年度 46 実績値 28年度 5	29年度 5	45 30年度 5			
目標道	達成度合い	න —	2. 国際 (調度) (調度) (調度) (調度) (調度) (調度) (調度) (調度)	会議 各 一 特 一 年 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	催件数 関共通区分) 「根拠) 「原子力利用に関 「平成29年度版利用 「アルトニウム利用 のバランスを図る こついては、国際」 協力フレームワー	26年度 4 26年度 4 2目標達成 測定指標が する基本書」が 子カ基本書」ない。 子の基本のでは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、	27年度 4 27年度 4 目標を達成し また」(平成2 発刊方」を 発刊方」のの 第 3 AEA)総会子力 おける原子力	28年度 46 実績値 28年度 5 たことから、- 29年7月20日 たことから、- 29年7月12日 1日はよりの政利 でかいである和 でかいであるのである。 29年7月12日 1日はよりである。 29年7月12日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 2	29年度 5 1 29年度 5 29年度 5 1 20年度 1 20年度 1 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度	30年度 30年度 5 ※決定、翌21 ーション」を特 レトニウムは打 、これをIAEA ジア原子力協	集としてまとら 持たない」との 加盟国にも回 カフォーラム	めた。また、1 )原則の下、2 ]章で広く周知 (FNCA)の運	5年ぶりに プルトニウ ロした。 営、国際原
目標影	達成度合いで 測定結果	D .	2. 国際( )( )東京 ( )( )東	会議 各 一 標 で 標 で で で で で で で で で で で で で	催件数 関共通区分) 「根拠) 「原子力列用に関 「アルトニウムを図のバランスを図際」 については、議 はについては、議	26年度 4 26年度 4 2目標達成 測定指標が する基本書」が 子カ基本書」ない。 子の基本のでは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、	27年度 4 27年度 4 目標を達成し また」(平成2 発刊方」を 発刊方」のの 第 3 AEA)総会子力 おける原子力	28年度 46 実績値 28年度 5 たことから、- 29年7月20日 たことから、- 29年7月12日 1日はよりの政利 でかいである和 でかいであるのである。 29年7月12日 1日はよりである。 29年7月12日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 20日 2	29年度 5 1 29年度 5 29年度 5 1 20年度 1 20年度 1 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度	30年度 30年度 5 ※決定、翌21 ーション」を特 レトニウムは打 、これをIAEA ジア原子力協	集としてまとら 持たない」との 加盟国にも回 カフォーラム	めた。また、1 )原則の下、2 ]章で広く周知 (FNCA)の運	5年ぶりに プルトニウ ロした。 営、国際原
	達成度合いで 測定結果	n	2.	会 各 指 ケッ国用国ネれ上 要 のきの ほのは で 標 年プにと際ルら述 因 施 推 測 員 Wるの	催件数	26年度 4 26年度 4 2 目標達 がする力基では す子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子	27年度 4 27年度 4 目標を達成し 意発えついて、 でのでは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でで	28年度46実績 度528年度628年度5た 9月に か 月に利の政和 で い 響	29年度 5	45 30年度 5 ※ 決シニック ショウ シニック ショウ シニック ショウ ショウ ショウ ショウ ショウ ショウ ショウ ショウ	集としてまとの 持たない」との 加盟国にも回 カフォーラムの 対を実施し、原	めた。また、1 )原則の下、元 ]章で広く周知 (FNCA)の運動 京子力委員会	5年ぶりに プルた。 プルた。 国 文 の 学 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の
	達成度合いの測定結果の分析	<i>σ</i>	2.	会 各 指 ロッ国川国ネれ上 要 のきの 14 カー	催件数 選共通区分) 「根外」の分析】 「原平プバシストーンのである。」のである。 「のでは、」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。」のである。。 「原の策にアクセスを、」のである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないである。」のでは、ないでは、ないでは、はいいでは、ないでは、はいいでは、ないでは、はいでは、はいいでは、はいでは、はいでは、はいでは、はいでは、はいいでは、はいでは、はいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいでは、はいでは、はいは、はい	48 26年度 4 20 年度 4 ② 目標達標が す子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子	43 27年度 4 27年度 4 目標を で が発えつい。 で で で の会子で の会子で は で の会子で の会子で の会子で の会子で の会子で のの会子で のの会子で のの。 で のので のので のので のので のので のので	28年度46実績 度28年度実績 年度5た 28年分しなけ平 か 月に利の政和 行の政和 行いどる和 行いである	40 29年度 5 上記 半期 サール サール サール サール サール で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	45 30年度 5 ※ シートニルを シートニルを シートニルを での方 がの方策の がの方策の では引き	集としてまとの 持たない」との 加盟国にも回 力フォーラムの 対を実施し、原 で 言続き、従来の	めた。また、1 )原則の下、元 ]章で広く周知 (FNCA)の運動 京子力委員会	5年ぶりに プルた。 プルた。 国 文 の 学 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の
平面结果 標 。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	達成度合いの測定結果の分析	מ	2.	会 各 指 ロッ国川国ネれ上 要 のきの 14 カー	催件数 選供 機 関共 機 所 所 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	48 26年度 4 20 年度 4 ② 目標達標が す子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子のと子	43 27年度 4 27年度 4 目標を で が発えつい。 で で で の会子で の会子で は で の会子で の会子で の会子で の会子で の会子で のの会子で のの会子で のの。 で のので のので のので のので のので のので	28年度46実績 度28年度実績 年度5た 28年分しなけ平 か 月に利の政和 行の政和 行いどる和 行いである	40 29年度 5 上記 半期 サール サール サール サール サール で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	45 30年度 5 ※ シートニルを シートニルを シートニルを での方 がの方策の がの方策の では引き	集としてまとの 持たない」との 加盟国にも回 力フォーラムの 対を実施し、原 で 言続き、従来の	めた。また、1 )原則の下、元 ]章で広く周知 (FNCA)の運動 京子力委員会	5年ぶりに プルた。 マルた。 関会 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一
平面结果 標 。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	達 成 定 意 策 の の の が で で で で で で で で で で の の で で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	かって	2.【 平口「ムま子にこ 【	会 各 指 ロッ国川国ネれ上 要 のきの 15 カッ 1	催件数 選供 機 関共 機 所 所 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	26年度   4   26年度   4   2   26年度   4   2   26年度   4   2   2   2   2   2   2   2   2   2	27年度 43 27年度 4 目標を達成した 意発表によった。 「「「「「「」」」」。 「「「」」」。 「「」」。 「「」」。 「「」」。 「「」」。 「」」。 「」」。 「」。 「	28年度   46   実績年度   28年度   10   28年度   10   28年度   10   28年度   10   28年度   11   12   12   13   14   15   15   16   17   18   19   10   10   10   11   12   12   13   14   15   16   17   18   19   10   10   10   10   11   12   12   13   14   15   15   16   17   18   18   19   10   10   10   11   12   13   14   15   16   17   18   18   19 <t< td=""><td>29年度 5</td><td>45 30年度 5 ※シニャン では、シートには、アカンの方策のでは、アカーでは、アカ</td><td>集としてまとのでまとのです。というとはいうとはいうとのできたのである。 はいり という という という という という という という という という という</td><td>めた。また、1 )原則の下、元 ]章で広く周知 (FNCA)の運動 京子力委員会</td><td>5年ぶりに プルた。 で いた 国 会 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	29年度 5	45 30年度 5 ※シニャン では、シートには、アカンの方策のでは、アカーでは、アカ	集としてまとのでまとのです。というとはいうとはいうとのできたのである。 はいり という	めた。また、1 )原則の下、元 ]章で広く周知 (FNCA)の運動 京子力委員会	5年ぶりに プルた。 で いた 国 会 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の